福井県障がい福祉従事者人材育成ビジョン

令和7年10月
福井県自立支援協議会　人材育成部会

策定の目的

福井県障がい福祉従事者人材育成ビジョンは、本県が目指すべき障がい福祉従事者像を明らかにし、総合的な相談や支援の実践において、必要となる資質（価値・知識）や技能（技術）を習得できるよう、求められる人材像や研修体系等を明確にすることを目的に策定しました。なお、本ビジョンにおいては障がい福祉従事者として「育つ」ことと、障がい福祉従事者を「育てる」ことを含む人材育成に関する指導過程等を通じ、ともに学ぶ「育ちあい」を基本理念に掲げ策定しています。

障がい福祉従事者に求められる人材像

障がい福祉従事者に求められる人材像イメージ



キャリアの段階ごとに求められる人材像があり、それよって必要な価値観・知識・スキルも変化していきます。

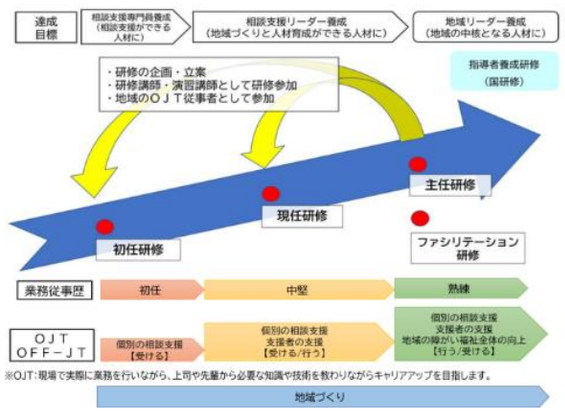
障がい福祉従事者における中核的人材

人材育成の中核を担う人材には下記の人材像を示しています。
① チームで障がい児者への個別の支援ができる。
② 支援者同士で学ぶ機会の提供など支援者の支援を行うことができる。
③（自立支援）協議会を通じて地域の障がい福祉全体の向上に努められる。

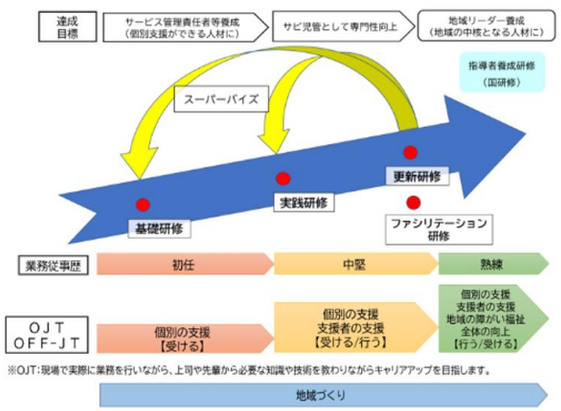
職種ごとの育ちあう人材育成ビジョン

相談支援専門員、サービス管理責任者等に従事する方向けに職種ごとのキャリアイメージをまとめています。キャリアの段階によって従事者同士がOJT、OFF-JTを受ける（行う）を通じて育ち合っていきます。

相談支援専門員



サービス管理責任者等



障がい福祉分野の研修体系

人材育成およびキャリアの積み上げに必要な研修を一覧にまとめています。

県研修体系図



障がい福祉従事者を支える取組み

県の取組み

・障がい福祉従事者の養成、県の人材育成の在り方の検討。
・アドバイザーを派遣して地域の指導・調整、広域的支援の実施。

市町の取組み

・地域の障がい福祉ニーズを把握し、課題解決向けた検討および支援の提供。
・相談支援体制や関係機関とのネットワーク強化。

協議会の取組み

・地域の障がい福祉課題に応じ地域の支援体制整備の促進。
・地域の関係機関とのネットワークを構築し、協議会の活性化や地域の人材育成に取り組む。

事業所の取組み

・日常の業務と所内OJTの実施で従事者のスキルアップ。
・講師や研修受講者として、従事者の各研修や地域（自立支援）協議会への参加の促し。

福井県障がい福祉従事者人材育成ビジョン掲載ホームページ
https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/soudansyo/osirase/fukui_vision.html